

プログラム

11月26日（土）

第1会場（多目的ホール）

特別講演Ⅰ

11:00～12:00

座長：金城 利雄（公立大学法人名桜大学人間健康学部看護学科）

沖縄県におけるリハビリテーション看護のあゆみ
——戦後から復帰まで——
備瀬 信子（元沖縄県看護協会会長）

優秀賞候補口演（5演題）

13:00～13:50

座長：北代 直美（NPO法人日本リハビリテーション看護学会）

- 01 脊髄損傷者のPosttraumatic Growth（心的外傷後成長）に至るプロセス
竹崎 和子（独立行政法人労働者健康安全機構 吉備高原医療リハビリテーションセンター）
- 02 排尿日誌から主な排尿障害の種類を判断するためのフローチャートの作成とその有用性
上山 真美（群馬大学大学院保健学研究科）
- 03 肢体不自由児への電動車椅子の導入に関する多職種による包括的な視点
東 未来（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- 04 半側空間無視により歩行障害を呈した患者に対する看護介入の一考察
——入院前の役割を活用した介入の試み——
松尾 彩香（誠愛リハビリテーション病院）
- 05 回復期リハ病棟から認知症患者の在宅ケアへ向けた情報提供の検討
——介護支援専門員から見た看護要約——
清永 麻子（山口大学大学院医学系研究科）

特別講演Ⅱ

15:20～16:20

座長：松田 百合子（NPO法人日本リハビリテーション看護学会）

リハビリテーション看護への期待
園田 茂（藤田保健衛生大学七栗記念病院 病院長）

講義棟109教室

交流集会1

9:00～10:00

摂食嚥下障害患者に対する他職・地域連携の今後

オーガナイザー：加藤 節子（医療法人光風会 北山病院）

講義棟110教室

交流集会2

12:05～12:55

子どものリハビリテーション看護

オーガナイザー：荒木 暁子（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

11月27日（日）

第1会場（多目的ホール）

基調講演

9:00～10:00

座長：荒木 暁子（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

患者エンパワーメントに活かすコーチング

出江 紳一（東北大学大学院医工学研究科 研究科長）

シンポジウム 身体障害を有する認知症者のリハビリテーションの現状と課題

10:05～11:35

座長：粟生田友子（国立障害者リハビリテーションセンター）

増岡 薫子（地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立リハビリテーション病院）

認知症のリハビリテーション

大沢 愛子（国立長寿医療研究センター 認知行動科学研究室）

認知症の人・介護家族の意思を支える看護

—— 新オレンジプランに沿って ——

中田 葉子（兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 認知症看護認定看護師）

認知症高齢者のリハビリテーションの現状と課題

—— 作業療法士の視点から ——

吉水由香里（特定医療法人寿栄会 有馬高原病院 作業療法士・兵庫県園芸療法士）

ランチョンセミナー1 リハビリテーション看護における排泄管理

11:50 ~ 12:50

ほっとける排尿障害・ほっとけない排尿障害

鈴木 康之（東京都リハビリテーション病院 副院長（泌尿器科））

排尿日誌を活用したケアの実際

高崎 良子（東京都リハビリテーション病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）

口演 第1群 排泄障害ケア・高次脳機能障害ケア

13:00 ~ 13:50

座長：蟻田 富士子（東京都リハビリテーション病院）

○-06 回復期病棟における排尿日誌の活用と定着に向けた取り組み

—— 排尿チャートを利用して ——

茂山 学（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

○-07 脊髄損傷患者に摘便をせず便失禁を防ぐ排便方法の検討

—— 用手微振動と腰部固定帯を用いた臥位での方法 ——

増田 英太（東海大学医学部附属大磯病院）

○-08 脳卒中発症後の失語患者に対する失語症スクリーニングシートの試作

伊藤 由美（東海大学医学部附属病院）

○-09 記憶障害を呈した患者への交換日記を用いた看護介入の検討

—— 社会復帰を目指して ——

正司 貴子（誠愛リハビリテーション病院）

○-10 高次脳機能障害患者の社会復帰・職場復帰への取り組み

—— 看護理論を基に振り返る ——

辰本 薫（総合リハビリテーション 伊予病院）

合同交流集会

13:50 ~ 15:10

リハ看護についてユンタクサビラ（おしゃべりしませんか）!?

—— 様々な看護領域でどの様に実践されているのかを知り、概念を広げよう ——

第2会場（学生会館SAKURAUM 3階 大講義室A）

口演 第2群 安全管理

10:05～10:45

座長：田村 玉美（人間総合科学大学）

- 11 活用されるマニュアルにするための構成要素と関係性に関する一考察
—— 全病棟の看護師認識調査から分析 ——
古賀 慶子（広島県立障害者リハビリテーションセンター）
- 12 看護師に向けた患者の能力・個別性に応じた与薬方法の周知と与薬意識の向上
堤 章伸（東京湾岸リハビリテーション病院）
- 13 認知症患者の徘徊行動と安全管理の現状
—— 症例から学んだ周囲適応能力と行動観察 ——
渡辺 英和（医療法人緑水会 宜野湾記念病院）
- 14 A病棟における身体抑制解除が行えなかった患者の考察
浜里まゆみ（医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院）

口演 第3群 摂食嚥下障害ケア

10:45～11:35

座長：中西 まゆみ（東京湾岸リハビリテーション病院）

- 15 脳卒中急性期における栄養確立への取り組み
押山乃里子（苑田会 苑田第一病院）
- 16 摂食嚥下機能療法における看護師の理解向上への取り組み
—— アセスメントシートの導入による効果 ——
古館 朋子（南昌病院）
- 17 経口摂取への取り組み
—— 歯科衛生士と協働 ——
小山真州美（社会医療法人三車会 貴志川リハビリテーション病院）
- 18 回復期リハビリテーション病棟における看護の重要性
—— 摂食嚥下機能を向上させるための取り組み ——
麻生 翔太（医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院）
- 19 介護保健施設におけるミールラウンドの取り組み
加藤 節子（医療法人光風会 北山病院）

ランチオンセミナー2

11:50 ~ 12:50

座長：加藤 節子 (医療法人光風会 北山病院)

栄養とリハビリテーション

近藤 国嗣 (医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院 院長)

口演 第4群 実践的取り組み1

13:00 ~ 13:50

座長：増岡 薫子 (地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立リハビリテーション病院)

- 20 フローチャートを使用した内服自己管理の退院後調査から見えたこと
濱田 妙子 (一般社団法人 是真会 長崎リハビリテーション病院)
- 21 低栄養患者に対し、CTCAEを用いた際の筋力・ADLへの効果
小澤 琢也 (藤村病院 リハビリテーション部)
- 22 脊髄損傷者の歩行ロボット訓練を体験した思い
田原 和美 (労働者健康安全機構 吉備高原医療リハビリテーションセンター)
- 23 脳血管障害を発症した壮年期患者の役割復帰に向けた気持ちの変化
—— ナラティブアプローチを活用して ——
栗原 由枝 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)
- 24 認定看護師の実践からみる脳卒中患者の主体性回復支援の構造
立原美智子 (茨城県立医療大学附属病院)

口演 第5群 実践的取り組み2

13:50 ~ 14:20

座長：板倉 喜子 (医療法人白山会 白山リハビリテーション病院)

- 25 リハビリテーション療法を受ける透析患者の疲労度について
菅原 敦 (国家公務員共済組合連合会 東北公済病院)
- 26 リハビリテーション看護に役立つ手術室看護の要素
南 まゆみ (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 中材・手術室)
- 27 リハビリテーション期に胃がんと診断された患者の看護の振り返り
岩井 美濤 (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター)

口演 第6群 ADL, IADL**14:20 ~ 15:00**

座長：高野 ちか子（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

- 28 看護師に頼りがちな人工呼吸器装着患者のADL・意欲向上に至ったプロセスの振り返り
蜂谷いつか（社会医療法人弘仁会 大島病院）
- 29 病棟での介助方法を統一するために
—— リハビリテーション参加の現状と課題 ——
山本 梨央（社会医療法人大道会 ポバース記念病院）
- 30 セルフケア能力に関わる援助を通して
—— ADL援助シートを使用してみた ——
人見 真未（社会医療法人大道会 ポバース記念病院）
- 31 布団の掛け外しに関するスタッフの意識変化
犬丸 美香（医療法人五星会 新横浜リハビリテーション病院）

第3会場（学生会館SAKURAUM 3階 大講義室B）**口演 第7群 退院・在宅支援1****10:05 ~ 10:45**

座長：原 三紀子（東京女子医科大学看護学部）

- 32 脳卒中患者主介護者の介護負担感に関する考察
—— 在宅復帰群と非在宅復帰群の比較 ——
福山 亮太（鹿児島大学病院 霧島リハビリテーションセンター）
- 33 回復期リハビリテーション病棟における重症脳卒中患者の自宅退院に影響を与える要因
向井 康人（地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立リハビリテーション病院）
- 34 回復期リハビリテーション病棟における退院前訪問の意義
—— 看護師が訪問する事で見えてきたこと ——
廣仲 美子（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）
- 35 病棟と在宅をつなぐリハビリテーション看護師の学び
—— 退院した受持ち患者の在宅訪問経験から ——
畑 吉節未（神戸常盤大学 保健科学部 看護学科）

口演 第8群 退院・在宅支援2

10:45～11:25

座長：西村 はるよ（社会医療法人 大道会 森之宮病院）

- 36 人工股関節全置換術後患者の個別性のある退院指導への取り組み
—— 情報シートを活用して ——
南島奈穂子（久留米大学医療センター）
- 37 慢性疾患をもつ成人男性のセルフケア能力を高める看護
—— SCAQを活用しての関わり ——
浅井 夕貴（社会福祉法人琴の浦リハビリテーションセンター）
- 38 脳卒中患者の内服管理に影響を及ぼす因子の分析
内村 彩乃（鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター）
- 39 脳血管障害患者とその家族の自宅退院後の生活状況
川崎 陽子（愛仁会リハビリテーション病院）

ランチョンセミナー3

11:50～12:50

座長：又吉 達（沖縄リハビリテーションセンター病院）

嚥下造影検査（VF）でわかる疾患と病態

武原 格（東京都リハビリテーション病院 リハビリテーション部長
東京慈恵医科大学 リハビリテーション医学講座 准教授）

口演 第9群 退院・在宅支援3
13:00 ~ 14:00

座長：宮前 里香（NTT東日本関東病院）

- 40 経鼻胃管チューブの閉塞改善に向けた安全な簡易懸濁法の検討
佐藤かおり（東京都リハビリテーション病院）
- 41 食事摂取の自立度が自宅への退院に及ぼす影響
吉村 仁美（社会医療法人大道会 森之宮病院）
- 42 FIM運動項目総得点と退院先の関係性について
—— 脳血管疾患患者において ——
下赤 久美（医療法人慈圭会 八反丸リハビリテーション病院）
- 43 初外出、外泊をする患者の支援に対する看護師の意識調査
岡本 淳（とちぎリハビリテーションセンター）
- 44 リハビリテーションを実施後、自宅退院した患者・家族における退院指導の活用状況実態調査
木森紀美子（大分県済生会日田病院）
- 45 アセスメントシートを活用した多職種カンファレンスへの取り組み
立岡 美保（箕面市立病院）

口演 第10群 多職種協働
14:00 ~ 14:40

座長：坂井 志麻（東京女子医科大学看護学部）

- 46 多職種での摂食支援が満足して生きることへ繋がった一例
大城 清貴（社会医療法人友愛会豊見城中央病院食支援室）
- 47 肺炎を繰り返す患者に対する多職種連携
—— ケアの振り返りと今後の課題 ——
坪内砂瑛子（医療法人財団尚温会 総合リハビリテーション 伊予病院）
- 48 ケアカンファレンスの内容が共有できる環境作り
大瀧 徹（医療法人白山会 白山リハビリテーション病院）
- 49 365日リハビリテーション体制における看護介入の方向性
柳橋 正智（茨城県立医療大学付属病院）

11月27日 (日)

ポスター会場 (学生会館SAKURAUM 6階 大会議室)

ポスター 第1群

10:30 ~ 11:30

- P-01 回復期リハビリテーション病棟における家族の面会頻度とFIM回復度の関連性について
豎山 純子 (横浜新都市脳神経外科病院)
- P-02 回復期病棟における患者個々の安全な移乗動作に向けての取り組み
井上佳代子 (熊本リハビリテーション病院)
- P-03 回復期リハビリテーション病棟における失語症患者への情報提供の実態
——失語症患者へのインタビューより——
鈴木 郁美 (沼津リハビリテーション病院)
- P-04 構音障害のある介護老人保健施設入居者に対する呼吸及び発声レクリエーションの効果
阿久津玲未 (群馬大学医学部附属病院)
- P-05 病棟看護職全員で行う抑制解除検討会の効果について
牧野安希子 (医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院)
- P-06 リハビリテーション看護の倫理的課題をさぐる文献検討
金子 昌子 (獨協医科大学 看護学部)
- P-07 回復期リハビリテーション病棟における高齢者の転倒回数の比較調査
——リハ用B項目の改善点数の視点から——
北川 直基 (医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院)
- P-08 在宅脊髄損傷者のヘルスリテラシーに影響を及ぼす要因
日下部龍子 (国立障害者リハビリテーションセンター病院)
- P-09 < 演題取下げ >
- P-10 下肢人工関節置換術後の肥満症患者に向けた体重コントロール指導ツールの作成を行って
高橋 美穂 (久留米大学医療センター)
- P-11 回復期リハビリテーション期にある脳血管障害患者の平均顔の質的解析による看護アセスメント
田山 理恵 (東京都リハビリテーション病院)
- P-12 高次脳機能障害を有する患者に看護師が抱く陰性感情と対処行動
蛭田 利佳 (国立障害者リハビリテーションセンター病院)

- P-13 看護師による入院時訪問の実際とチーム連携について
—— 入院時訪問の情報共有への取り組み ——
野田頭弘治（永生病院）
- P-14 高次脳機能障害の患者への看護
—— 事例の振り返りから学ぶ「患者の気持ちを想像し共有することの大切さ」——
中村 俊輔（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- P-15 回復期リハビリテーション病棟におけるチーム医療
森本 瑞穂（琉球大学医学部附属病院）
- P-16 リハビリテーション看護の学びを支援する教育活動の実際
五十嵐一美（神奈川県総合リハビリテーション事業団 厚木看護専門学校）

ポスター 第2群

13:00 ~ 14:00

- P-17 脳卒中再発予防に向けたエンパワーメント介入の効果
寺本 清美（荒尾市民病院）
- P-18 チームで行う退院支援
—— 退院支援に関する実態調査 ——
梅村亜沙美（兵庫県立リハビリテーション西播磨病院）
- P-19 転倒・転落防止策に対する意識調査
森本 綾子（地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立リハビリテーション病院）
- P-20 回復期リハビリテーション病棟における転倒転落予防への取り組み
原田 真（特定医療法人茜会 昭和病院）
- P-21 頸髄損傷者の履き物の現状と満足度
泉谷 義明（国立障害者リハビリテーションセンター病院）
- P-22 回復期リハビリ病棟での摂食嚥下患者にたいしての取り組み
玉那覇由美子（医療法人緑水会 宜野湾記念病院）
- P-23 摂食嚥下障害のある高齢者の介護者が抱く医療従事者への要望と思い
野崎 希元（公立大学法人 名桜大学人間健康学部看護学科）
- P-24 人工骨頭挿入術を受ける関節リウマチ患者のセルフケアセルフケア向上とQOLの維持を目指した看護
浦崎真李奈（東京都リハビリテーション病院）
- P-25 車いす生活者の衣生活の実態と衣服ニーズ
粟生田友子（国立障害者リハビリテーションセンター）

- P-26 口腔機能向上のための嚥下体操DVDの作成
—— 音楽のもたらす効果に着目して ——
中村 美香（兵庫県立リハビリテーション西播磨病院）
- P-27 退院支援に向けたリハビリテーション看護の可視化
—— 看護記録のテキストマイニングを通じて ——
瀬戸 僚馬（東京医療保健大学 医療保健学部）
- P-28 脊髄損傷患者の排泄行為に対する当病棟における看護の取り組み
服部麻衣子（社会医療法人緑泉会 米盛病院）
- P-29 脊髄損傷患者の退院支援としての家屋訪問における前後カンファレンスの強化
岡本有加里（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- P-30 エンドオブライフを見据えたリハビリテーション看護の振り返りを実施して
江尻友理子（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- P-31 再発を繰返し介護量が重度化した老老介護事例に対する退院支援
高木 睦美（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- P-32 オムツ使用に対する看護師・介護士のイメージと使用方法に関する実態調査
上野沙弥香（西日本病院）
- P-33 未曾有の大災害時における退院支援困難事例「寝る場所さえあれば家に帰りたい」
森崎 美紀（西日本病院）
- P-34 退院支援を行う看護師の経験値の差を埋めるためのマニュアル作成
石川由布子（東京湾岸リハビリテーション病院）